

明治夜話



(58) 鶴ヶ城

鹿鳴館時代の山川
捨松とその結婚

捨松の帰朝したのは、丁度、鹿鳴館時代の初めに当たったので、前々から不平等条約改正の必要を痛感していた彼女は、当局者に求められ、自らその西洋風の社交場に積極的に身を投じ、忽ちにしてその学識と外国語を自由に駆使する才能が認められ、特に、その美貌が鹿鳴館でも注目の的となった。

また、明治十六年十月廿八日の読売新聞を見ると、
●陸軍卿大山巖、山川捨松と結婚
大山陸軍卿には今般素て高名なる女学士山川捨松子と結婚の儀を其筋へ願ひ出されし由。
とある。これは捨松二十五歳の時、陸軍卿とは後の陸軍大臣である。
その頃、大山巖は前妻女子に病死されて、その後妻

鶴ヶ城の女達 (一五)

阿達 義雄

を物色していた際であった。大山は捨松を自分の妻にするために、捨松の兄の浩に再三懇望したのであったが、その度毎に固辞されていた。この浩は、何しろ、薩摩藩は戊辰戦争の時には会津藩を最も苦しめており、この結婚を申し込まれた時、山川浩は陸軍省人事課長であったので、浩の性格としては、その長官であり、昔仇敵であった薩摩人の大山巖と縁籍関係になることを極度に嫌っていたからであった。

また、鶴ヶ城が新政府軍に包囲された時、その城内に山川咲子(捨松と山川一族が籠城しており、小山から連日のように鶴ヶ城が猛砲撃されるようになったのも、薩摩一番砲隊長の大山の発案とも言われ、一方この大山砲隊長は八月廿三日、鶴ヶ城の北出を砲撃しようとした時、城内からの砲射によって右大腿部を撃たれて負傷したという因縁があり、その上に、山川浩の妻とせよ当時電城中で九月十四日に城内に撃ち込

まれた砲弾の破裂で、四個所も傷を負って爆死したという悪因縁もあった。それにも拘らず、あの重厚闊達な大山が百度参りをして強引に結婚を承諾させた事実から考えても、捨松に対する大山の執心振りと捨松の魅力の程が知られるであろう。

この頃の欧化政策は国家的要請でもあったので、や伯爵・陸軍卿大山巖の令夫人となった捨松が、従来にも増して鹿鳴館において華やかに活躍したことは勿論である。大山伯も当初から之を期待していたものであり、明治二十年一月二十九日の東京日日新聞に(大山巖伯爵も官舎で夜宴などという記事が見られる。この記事を見た当時の人々は誰しも先ず捨松夫人の麗姿を思い浮かべたはずである。まあ、この年の四月、鹿鳴館に行われた(前代未聞の仮装舞踏会)について、内田魯庵は、

「何しろ当夜の賓客は日本の運命を双肩になう国家

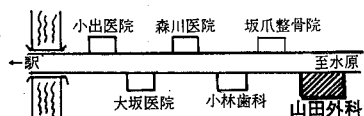
の重臣や朝廷の貴紳ばかりであった。主人側の伊井公侯(伊藤博文、井上馨)が、まず俊輔、聞多の昔に若返って異様の扮装に賓客をドツと笑わした。

この時、右の維新の元勳は、みな夫妻相携えて鹿鳴館に臨んだことは当然のことであり、大山夫人は他の元勳の夫人連に比し、美貌、教養、学識、特に流暢に外国語を駆使する点において、その若さの点において、も卓然として他を抜いていたことは勿論のことである。

参考までに、高群逸枝の『女性の歴史』によつて、維新の元勳の夫人の素性を調べてみると次のようである。
○木戸孝九の妻松子(京都三本木の町老若) ○山

お買物、ご用命は市内で

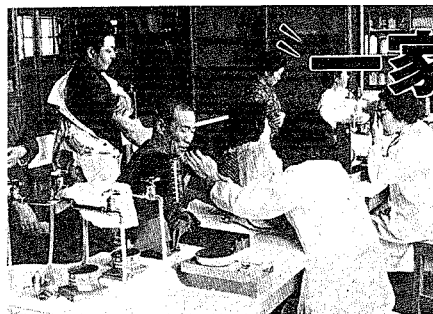
駐車場完備



胃腸・皮膚・肛門(ち)・泌尿・X線

山田外科医院

新町2丁目1-6 TEL(2)0432



一家の柱を襲う成人病

日頃から予防の心がけを

予防は治療に勝ります。年に1回は定期検診を

高血圧 心臓に負担

心臓から送り出された血液は、血管を流れて全身に送り届けられますが、動脈が細くなり血液の流れが悪くなると、心臓というポンプは、それだけ余計に圧力を上げなければならなくなります。これが高血圧です。

正常な血圧は一般的に最大が140、最小が90をそれぞれ上限とされています。定期的に血圧を測り、自分の血圧の値を知っておくことが大切です。

動脈硬化 血管が衰える

動脈は、心臓から出る血液を全身に送り届ける大切な役目を果たしています。ところが年とともに、内壁にコレステロールや中性脂肪などがくっつき、その分、血液の通る道が細くなり、血管そのものもだんだん弾力性がなくなり、血管がモロくなります。これが動脈硬化といわれるもので、血液の流れが悪くなると同時に血圧を高め、そのことがまた動脈硬化にいつそう拍車をかけることになるのです。

- 日常生活での注意
- ①規則正しい生活
仕事と休養のバランスを考えて、疲れたたらまないように睡眠をよくとり、規則正しい生活を送りましょう。
 - ②精神の安定
血圧は、精神状態に敏感に反応します。突発的に起こる感情的な動揺・興奮や怒りや、心配ごとで悩んだりするのはよくありません。適度な気分転換を図りましょう。
 - ③保温の心がけ
冬の夜、便所などで脳出血の発作を起こす人が多いように、暖かい所から急に寒いところに体をさらすのはよくありません。気をつけましょう。
 - ④湯かぎの調節
風呂の脱衣場は暖める一方、湯の温度は熱すぎないようにしましょう。浴室内では水圧の影響も受けるので、十分注意しましょう。
 - ⑤便秘にならない工夫
便秘は不快感やイライラのもとになり、血圧によくありません。適度な運動と、野菜やくだものなど繊維の多いものを食べ、便秘にならないようにしましょう。
 - ⑥定期的健康診断
少なくとも年に1、2回は健康診断を受け、病気の早期発見・早期治療の心がけましょう。

お買物、ご用命は市内で

室内装飾・美術表装・襖・壁・額

表具 一心堂

一級技能士 鈴木正義 本町3番 2-2035

みなさまの生命・財産をガス事故から守るため日夜努力しております。
ガスもれにお気づきになりましたら、すぐ4-2171のガス会社へ通報ください。



越後天然ガス